

行事報告書(研修)

報告者: 大地祥子

行事名	冬の樹木・冬芽観察
実施日時	平成26年2月13日(木曜日) 10時～14時 天候: 晴れのち曇り
場所	武庫川渓谷・武田尾付近
テーマ	武田尾の冬の樹木・冬芽観察(案内添付)
講師	溝部浩二、大地祥子
参加者数	31名
内容 (項目と概要)	<p>武田尾の冬の樹木・冬芽観察</p> <p>[コース] 武田尾駅～武庫川上流～トンネル～武田尾橋を渡る～右岸を下流へ～温泉橋～昼食場所へ～温泉橋を渡り右岸を下流へ～コクサギ群生地で折り返し～温泉橋を渡る～武田尾駅</p> <p>[武田尾駅～武田尾橋] ナナミノキ、ヌルデ、クマノミズキ、アカメガシワ、イボタノキ、ガンピ、マルバアオダモ、ツメレンゲ、ニガキ、ヤマグワ、ツルコウゾ、サルトリイバラ、ヨコグラノキを観察し武田尾橋を渡る。</p> <p>[武田尾橋～温泉橋] イロハモミジとエンコウカエデ、シラキ、キブシ、ムラサキシキブとヤブムラサキ、イヌガヤ、シキミ、クロモジ属のヤマコウバシ、クロモジ、ダンコウバイ、アブラチャンを比較観察。葉を内側に巻いたスイカズラとナワシログミ、ガマズミとコバノガマズミ、クリ、フユザンショウ、川側にタチヤナギ、カワラハンノキ、河原に有馬層群の流紋岩、対岸の山に白い露岩(溶結凝灰岩)がみられる。</p> <p>[温泉橋～コクサギ群生地～温泉橋] 温泉橋の上でオニグルミ、ケンポナシの群落を眺める。ミツバウツギ、アキニレ、エノキ、ネムノキ、ヤマハゼ、タラノキ、キササゲ、ゴンズイ、ジャケツイバラ、ウワミズザクラ、三大美芽の一つコクサギ、クズの冬芽と葉痕を観察した。</p>
まとめ感想	植物が厳しい冬の季節を逞しく生きている姿に接し、改めて植物の強さに感動しました。寒い中を皆様お疲れ様でした。



北側斜面に雪の残っている武田尾渓谷



オニグルミとケンポナシの冬の樹林



コマユミ



ミツバウツギ



ニガキ

-案内-

## MNC 2 月度研修 武庫川溪谷・武田尾付近の自然観察

\* 「有馬層群」の冬の樹木（主として冬芽）を観察します。

1. 期日 H. 26. 2. 13 (木) 雨天決行

2. 集合場所及び時間

JR 武田尾駅出口 10:00

3. 服装及び所持品

軽ハイキングスタイルで可、観察用具(ルーペ)、雨具、図鑑等、  
( 防寒対策もお忘れなく、気温は大阪市内より4~5°C低い場所です。)

昼食及び飲料。(現地で昼食の入手は出来ません! )、

\* 図鑑 : 冬芽ハンドブック 文一総合出版がお奨め

4. 観察ルート(概念図参照)

武田尾駅(WC)~武庫川上流~トンネル~武田尾橋を渡る~ 右岸を下流へ  
~温泉橋(対岸にWCあり)~昼食場所へ~温泉橋を渡り右岸を下流へ~  
返し ~ 温泉橋を渡る ~ 右岸を上流へ ~ JR 武田尾駅  
(解散)・・・雨天時は観察ルートを変えることがあります。

コクサギ群生地で折

5. 交通情報 武田尾駅には快速は停車しません。

JR 宝塚から 宝塚発 9:36 - 武田尾 9:45 新三田行き各停

JR 大阪から 大阪 9:00 - 9:05 尼崎 9:10 - 武田尾 9:45

(快速姫路行き)



6. 担当

溝部

大地

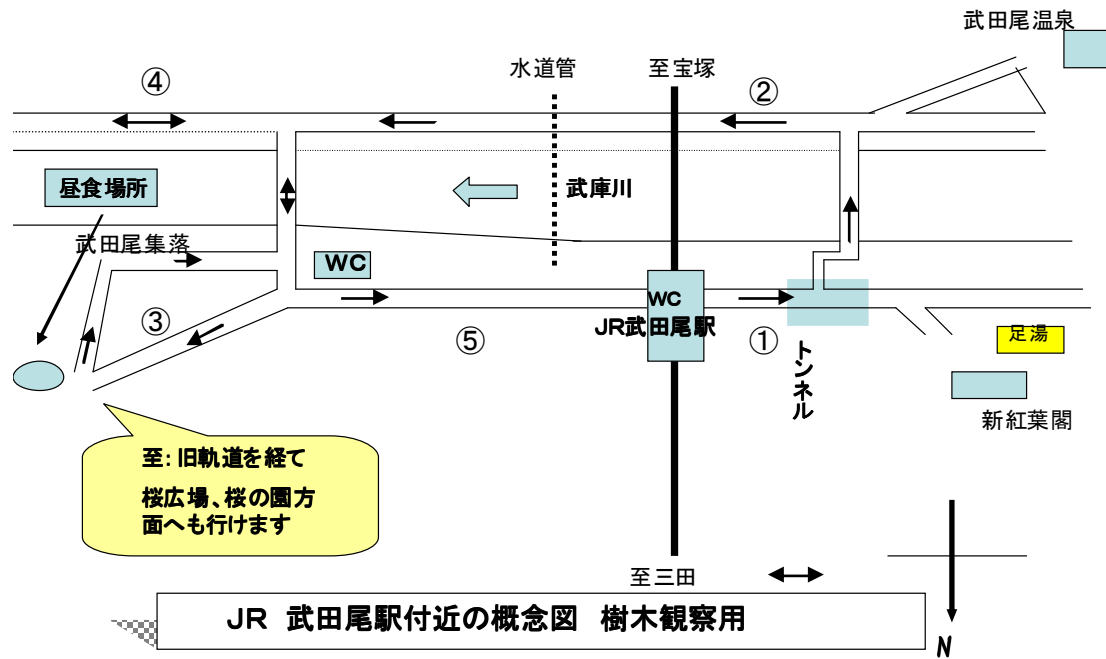
7. 推奨する図鑑等

\* 文一総合出版

「冬芽ハンドブック」

\* MNC 大橋さん

「冬芽のファッションショウ」



\* 冬の樹木観察…区分

**冬芽**

- ・裸芽 鱗芽 毛の有無
- ・頂芽 仮頂芽 側芽(腋芽) 頂生側芽 隠芽
- ・花芽(花序) 葉芽 混芽
- ・主芽 副芽
- ・不定芽

**枝・葉痕等**

- ・葉痕の形状、維管束痕
- ・1年枝の色、芽鱗痕 皮目
- ・互生 対生

**果実**